

第7回長野市総合計画審議会作業部会 教育部会 会議録（概要）

日 時：平成 18 年 2 月 21 日（火）

午後 3 時 00 分から

場 所：第一庁舎 8 階 第三委員会室

（1）基本構想 まちづくりの方針（施策の大綱）素案（教育関係）について

<まちづくりの方向性>

- 作業部会員 ・ 施策の視点の 1 点目は、生涯学習・文化芸術の色合いが強く、3 点目は学校教育・文化芸術の色合いが強い。スポーツの色合いが全体的に薄いように感じる。2 点目で教育分野全ての内容を言い表すということで、（策定作業に参加している）部会員以外の市民が目にした時に、これで理解できるだろうか。スポーツという言葉が入れば、パッと見た時に分かるかと思う。
- 作業副部長 ・ この部分は教育分野について述べている内容であり、1～4に照らして読めばわかる。「人づくり」については、何か加える必要性はないのではないか。
- 事務局 ・ 施策の視点はそれぞれが 1～4に共通する視点として掲げているものである。1 点目の「学びあい創造する」はスポーツにも通じる内容であり、また、3 点目についてもスポーツも文化に含まれるという考えからこのようにしている。
- 作業部会員 ・ この 3 つの施策の視点が 1～4の施策にかかってそれぞれの施策を展開していくものになると理解している。
- ・ これらの視点だけをみると何を言い表しているのかわかりにくい。特に 2 点目の視点は抽象的でわかりにくい表現のようにも感じるが、今後具現化していく際には当てはまってくるのではないかと。場合によっては、フィードバックして見直すことが必要かもしれない。
- ・ 今まで議論を重ねてこの形にしてきた。それにより抽象化されて分かりにくくなっているところもあるかもしれないが、とりあえずこの形で良いのではないかとと思う。
- 作業部長 ・ この部分については、視点の 3 点目を「教育・文化の充実」とするというのでよいか。

<異議なし>

< 1 次世代を担う人材の育成と環境の整備 >

- 作業部会員 ・ 「生きる力」の注釈はこれでよいのか？長野市で考えている「生きる力」

がこの内容であると理解されてもいいのか。この意味に限定してしまうと、学校の特色を打ち出していく際、足かせにならないか。[参考]ということを示したらどうか。

- 作業部会長
- ・注釈ということになっているが、そのまま載せると長野市としての考え方と捉れかねないという意見である。地域コミュニティにも注釈があるがこれについてもいかがか。
- 作業部会員
- ・地域コミュニティについてはこの通りであり、問題ないと思う。
- 作業部会長
- ・「意欲」や「夢」ということが読み込めるかという疑問もある。
- 作業部会員
- ・「意欲」や「コミュニケーション能力」の意味合いも入れたい。そうした場合、言い切られると辛いので、抽象的なものにしておいた方がよい。
- 作業部会員
- ・引用ということで掲載するとしても、3点として捉えることが間違いにならないか確認が必要。
- 作業部会長
- ・事務局で再度確認するように願いたい。
- 作業部会員
- ・3点目は前向きに整備するという表現になっているが、インターネット等、子どもたちを取り巻く負の環境への対応も必要。
- 作業部会員
- ・1点目の「多様な教育」とは、家庭、学校、地域それぞれにおいて今までとは違う多様な教育を展開する必要が出てきていることを示している。2点目は、支援体制を充実するという1つの方法であると思う。3点目と4点目はどちらも環境の整備であるが、3点目は「時代のニーズに対応する」環境整備を言っており、4点目は「(家庭、学校、地域の)3者の教育力の向上に対応していくための」環境の整備を言っていると思う。負の環境については、4点目で言い表せていると思う。
- 作業部会員
- ・また基本計画の中で触れていきたい。
- 作業部会長
- ・いかに適切な環境の整備をしていくかという視点をもって、基本計画策定作業にかかっていきたい。

< 2 豊かに学びあう社会の形成 >

- 作業部会員
- ・この2点の順序は逆ではないか。「・・・生きがいにつながる生涯学習社会を目指します。」そのために「だれもがいつでも・・・」とつながっていくのではないのか。
 - ・生涯学習は、学校教育も含む大きなものとして捉えられており、学校教育は生涯学習の基盤作りであるという考え方であるかと思う。
 - ・生涯学習は自分で学ぶだけではなく、社会に生かしていくという要素が大切なポイントである。資料1_2ページの10にあるような、生涯学習の成果を活用していくという視点が欠けているのでは。都市内分権の観点から考えると、生涯学習を通して地域を作っていくということは重要な視点である。
- 事務局
- ・2点目は、基本構想骨子のたたき台として示した際に「生涯学習の学び

の成果の活用による・・・」としていたものを現在のように修正している。

- ・順序に関しては、決まりはないので入れ替えても問題ない。
- 専門部会長 ・この内容については、専門部会の中でも議論し、集約してきたところである。次のステップでまたご議論いただくということではいかがか。
- 作業部会員 ・「学びの輪の広がり」としたらどうか。
- 作業部会員 ・「広がり」という言葉で「深まり」も表現できると思う。
- ・活用という言葉を使わないこととしたことで、柔らかくはなったがボケているので、「学びの活用や学びの輪の広がりによる・・・。」としてもいいのではないかと思う。
- ・順序については、「だれもがいつでも・・・」の導入の方が入りやすいのでこのままでよいかと思う。
- 作業部会員 ・「広がり」があれば活用も含まれるのでこのままでいいのではないかと思う。
- ・順序についても、特に決まりがないのであればこのままでよいかと思う。

< 3 ゆとりと潤いを感じる多彩な文化の創造と継承 >

- 作業部会員 ・前回の部会で意見のあった内容も表されているのでこれでよいかと思う。
- ・「発展・向上」という言葉は文化芸術には馴染まないと思う。

< 4 躍動する生涯スポーツの振興と競技力の向上 >

- 作業副部会長 ・1点目はこれでよいと思う。2点目には「高いレベルのスポーツ活動に触れる機会を拡充し、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツ人口の拡大を図る。」と「競技スポーツを振興し、競技力の向上とスポーツ人口の拡大を図る。」の2つの要素が入っていると思う。このままだと文章の係りがわかりにくい。「・・・競技スポーツを振興するとともに、・・・」としたらどうか。
- 作業部会長 ・事務局から何か説明があればお願いしたい。
- 事務局 ・「高いレベルのスポーツ活動に触れる機会の拡充」は、競技スポーツの振興策の一策と考え、このような表現とした。また、そのことにより、自分もやってみたいという市民が増え、更には競技力の向上につながっていくという意味でこのようにしている。
- 作業副部会長 ・1点目は生涯スポーツの振興を表現していて、2点目は競技スポーツの振興のことを言っているということではよいのか。
- 事務局 ・2点目の骨子は、「競技スポーツの振興と競技力の向上」なのでそのとおりである。
- 作業部会員 ・2点目の文章は、「市民のスポーツへの関心を高め、」を文章の頭に持ってきたらどうか。

- 作業部会長 ・文章の入れ替えにより問題は解消されるだろうか。
- 作業副部会長 ・事務局の話によると、修正はしないほうが良いかと思う。それであれば、「・・・競技スポーツを振興するとともに、・・・」としたらどうか。
- 専門部会員 ・専門部会では、「高いレベルのスポーツ活動に触れる機会を拡充するとともに、・・・」としていた。
- 作業部会長 ・その部分については、競技スポーツの振興と並列になるのかどうかで変わらと思うが。
- 作業副部会長 ・前段の、競技スポーツの振興までと後段とは並列になるかと思った。
- 作業部会員 ・「市民のスポーツへの関心を高め」は「スポーツ人口の拡大」とイコールになっているかと思うので、削除したらどうか。
- 作業副部会長 ・スポーツというと競技スポーツのイメージが強いので、そこは残したほうが良いかと思う。
- 作業部会員 ・高いレベルのスポーツ活動に触れる機会を拡充し、競技スポーツの振興を図ることで、市民に関心を高めさせて、競技選手に結び付けていくという流れだと理解した。
- 作業部会長 ・「市民の関心を高め」という表現を前に出すか、あるいは削除するかどうしたらよいか。
- 作業部会員 ・施策の視点を照らしながら読んだ時にはどうか。
- 作業部会員 ・1点目にも「市民の関心を高め」という表現が隠れているかと思うが、2点目の表現とは関心の度合いが違うかと思うがどうか。そういう意味で2点目にこの表現を残してあるのであれば、このままでよいかと思う。
- 作業部会長 ・このそれぞれの要素が施策の視点の人づくりにつながってきているかと思う。事務局案のとおりでよいか。
- 事務局 ・先ほど、「・・・競技スポーツを振興するとともに、・・・」とした方がよいのでは。との意見があったがいかがか。
- 作業部会員 ・修正すると羅列した文章になる。もともとは構造的な文章になっている。「市民の関心を高める」度合いの差を表すのであれば並列にするのは違うかと思う。
- 作業副部会長 ・先ほど、もとは「高いレベルのスポーツ活動に触れる機会を拡充するとともに、・・・」となっていたとのことであるが、その方が読みやすいかもしれない。
- 作業部会員 ・狙いをどこに据えるかによって文章は変わってくるかと思う。
- 事務局 ・「高いレベルのスポーツ活動に触れる機会の拡充」は、競技スポーツの振興策の一策と考え、このような表現としている。
- 専門部会員 ・そういうことでお願いしたい。
- 作業部会長 ・係りが難しいところがあるが、事務局案のままとすることでよろしいか。

<大タイトル>

- 作業部会員 ・大タイトルの「人が輝く」という言い方はするか。
- 作業部会員 ・「文化が輝く」に違和感を感じる。文化というものは、いざという時に存在感を示すものであって、控えめなものだと思う。
- 作業部会長 ・先ほど、「育む」とか「息づく」という話もあったが。3月の審議会にはこのまま出すこととして、また考えていくということでしょうか。
- 作業部会員 ・まちづくりの方向性では、「人間性豊かな人材の育成」と「多彩な文化の形成」となっている。それが一体となり、輝いていくまちとなるなら分かるが、単語2つを結び、輝くにつなげるのは何か違うと思う。
- 作業部会長 ・この部分についても、今後ご議論いただくということをお願いしたい。
- 事務局 ・事務局でまとめをお願いしたい。
- 事務局 ・大タイトルは今後ご議論いただく。
- 事務局 ・1は生きる力の注釈を確認し、参考として掲載する。
- 事務局 ・2～4は修正なし。

(2) 基本構想 行政経営の方針素案について

- 作業部会長 ・意見がなければこの内容で了承ということによろしいか。

<了承>

(3) 基本計画策定に向けた構成要素について

- 作業部会長 ・小項目と主な取組・事業に向けた要素の欄について意見をいただきたい。まず、1ページ目についていかがか。
- 作業部会員 ・中項目3の要素の4点目に「学校施設の開放」とあるが、「社会施設の活用」とした方が良いかと思う。学校施設の開放は、社会教育や社会体育の関係で使うことが多い。
- 作業部会員 ・ワークショップの時とは状況が変わってきている。今まで議論してきたことを踏まえ、もう一度整理して考える時間が必要。
- 作業部会長 ・第8回作業部会で意見交換していくということによろしいか。
- 作業部会員 ・そうしてほしい。
- 作業部会長 ・長野市の学校教育の目標は、教育大綱に基づいて設定されているので、教育大綱の「敬愛の心」をどのように当てはめていったらよいか。と考えている。やはり、それぞれで考える時間が必要であろう。
- 事務局 ・ご意見があれば、次回作業部会までの間に、事務局あてに送付いただきたい。

<事務局から今後の日程の説明>

- 作業部会員 ・進め方についてだが、次回の意見交換はWSで出た意見をどのように組み込んでいくのか、あるいは足りない要素はないか議論すればよいのか。その次に骨子たたき台となっているが、事務局で文言を作ってくるということか。
- 事務局 ・そのとおりである。
- 作業部会員 ・文言にしていくことを意識して意見を出さなくてはいけないのか。
- 事務局 ・そこまでは考えなくて良い。
- 作業部会長 ・現在示されているものがそのまま基本計画の体系になるものではなく、この中のものを含みながら基本計画を策定していくということでしょうか。
- 事務局 ・今後、議論いただき、骨子たたき台を示していく際には変わる可能性があるかと理解いただきたい。
- 作業部会員 ・これだけのボリュームを次回、2時間30分の中でこなすにはかなりタイトな日程になっているかと思う。
- 事務局 ・3月10日までに資料4に対するご意見を一度お送りいただきたい。

以上